

製本のススメ

Vol. 113

朝晩はぐっと過ごしやすくなりましたね。先月までの暑さが嘘のようですがこれが自然の凄さだと感じますね。このところ天候不良の災害が各地で発生し如何に人の力は小さいかと実感します。宇宙の研究もさりながら、地球もまだまだ研究の余地あります。

今回は**たまにはミシン加工**の話し

さて、秋口になると入学関係をはじめ何かと切り取って使うものが増えます。そこで今回はミシン加工！**この加工は、紙目に大きく左右される**のですが、あまりそのことは知られていません。

皆さんは『切れ味が悪い 位置がズレている』というクレームが来たことはないでしょうか？多くの方は加工が下手だから！と思うでしょう。むろんそれが無いとは言いません。しかし**紙目に沿ってミシンを入れるのと、逆らって入れるのではミシンの調節に何倍も時間がかかります**。掛かる割には上手いきません。なぜでしょう？

繊維の流れを紙目と呼んでいるように、**流れに沿って加工すれば実に爽快なほど美しく加工することができます(ミシンに限らず)**しかし、これに逆らって加工することは想定できない事故も多く、また均一な加工になりません(糊加工などがよい例です)

試にティッシュペーパーを手で裂いてみてください。短冊状に裂けるなら順目 うまく裂けないなら逆目です。逆目は驚くほど上手く裂けません。そこでミシン加工を思い出してください。**紙目に沿うなら切り取りやすく、逆目では切り取りにくい**のです。切れ目が入っていても、繋がっている部分が頑張っていて、結果 切りにくいという事態が起こります。特に厚い紙では深く(強めに)ミシン刃を入れないとはいけません。するとミシン後の加工中に切れるという事が起こりやすくなりますので、なるべく浅めにミシン刃を入れたいのです。予算や紙取りの都合もあると思いますが、なるべく紙目に沿ってミシン加工できる様な紙取りをお願いします。(次回は切らないミシン加工です)



Tea break

ホームページが無いのはホームレス企業と言われるそうで、弊社もサイトを(半ば工事中のまま放置)開設しておりましたが、この度リニューアルオープンし皆様にお知らせできるようなサイトになりました。**製本のススメ**もバックナンバーから順次アップしています。なにしろ手弁当ですので、あれこれと不備もありましようが、皆さんのお役にたてるようなサイトにして行きたいと思しますので下記 URL をブックマーク♪よろしく願い申し上げます。

<http://www.isekiseihon.com>

(株)井関製本 ← click

by (株)井関製本